



mundef PRESENTS

HOPE FOR JAPAN SUMMER CAMP

August 2012

■ 活動概要

mudefではこれまでHOPE FOR JAPAN事業として現地の支援活動を実施してきました。2011年7月には支援地域の一つ石巻市で、パートナー団体のJENの協力を得てサッカー教室も開催しました。

今回、mudefでは、横浜市に宮城県の小学生のサッカーチームを招待する2泊3日のサマーキャンプを実施することとしました。

招待するサッカーチームの選定について、パートナー団体であるJENを通じて、石巻サッカースポーツ少年団（構成：石巻市、女川町、東松島市）へ広く呼びかけました。

沿岸部と比較して被害の程度が軽いエリアとされるため、震災以降、現在に至るまで、被災していながらこのような機会に一度も恵まれてこ

なかった広渕サッカースポーツ少年団（石巻市）とFC IMPULSE（東松島市）を招待することとしました。

今回会場となる横浜市栄区は、これまでにも石巻支援活動を実施していた経緯もあり、mudefの提案に対して全面的に協力をしていただけのこととなりました。

子どもたちは、サッカー以外にも、宿泊施設である上郷森の家に隣接する横浜自然観察の森でのナイトハイクなど、横浜の魅力を知る活動も実施するなど、サッカー以外にも子どもたちに楽しんでもらうサマーキャンプを開催することとなりました。

概要

【石巻の子どもたちの移動日程】 2012年8月6日（月）～8月8日（水）

【サッカー教室】 8月7日（火） 10：00～12：00

【サッカー交流試合】 8月7日（火） 13：00～15：30

※サッカー教室及び交流試合には横浜市栄区サッカー少年チーム所属の小学生も参加

【ナイトハイク】 8月7日（火） 19：30～21：00

【参加者】 広渕サッカースポーツ少年団（石巻市）／FC IMPULSE（東松島市） 合計30名

【サッカー教室講師】 岩本輝雄（いわもと・てるお）／JOY

【サッカー教室会場】 横浜市立上郷小学校（雨天の場合、同小学校の体育館を利用）

【ナイトハイク会場】 横浜自然観察の森

■ 運営主体

【主催】 一般財団法人mudef

【協力】 横浜市栄区役所、横浜市栄区サッカー協会、特定非営利活動法人ジェン、公益財団法人日本野鳥の会

■ 招聘者数 ※全行程はJENスタッフが同行した。

チーム名	選手	引率	合計	総数
広渕サッカースポーツ少年団(石巻市)	14名	2名	16名	33名
FC IMPULSE (東松島市)	16名	1名	17名	

■ キャンプ日程

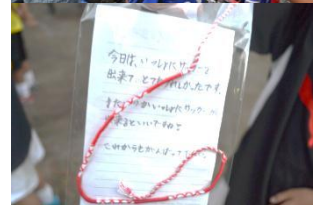
8月6日(月)

TIME	概要
9:00	東松島市コミュニティセンター集合、出発
12:00	移動中高速で休憩+昼食
17:30	中華街着、着後夕食、お土産購入
20:00	宿泊場所へ移動、移動後チェックイン
23:00	就寝



8月7日(火)

TIME	概要
7:30	朝食
9:00	森の家出発
10:00	岩本輝雄サッカー教室
12:00	昼食・休憩
13:00	交流試合
16:30	BBQ
18:30	撤収・移動 (→森の家)
19:30	ナイトウォーク (1時間)
23:00	就寝



8月8日(水)

TIME	概要
7:30	朝食
9:00	チェックアウト
10:00	矢沢なかよし公園で記念植樹
12:30	JEN事務所を子どもたち訪問
13:30	JEN事務所出発→東松島市へ (途中昼食)
19:30	東松島市コミュニティセンター到着、解散



■ キャンプ第1日目 出発～横浜中華街～就寝

9時に東松島市のコミュニティセンターに集合後、9時30分頃出発、バスで一路横浜を目指しました。当日は出発後もバスの中で子どもたちもとても元気だったとのことでした。

夕方に到着後、mudefスタッフと合流、横浜中華街にあるレストランで中華料理を食べました。

その後、中華街で一足早く、お土産を購入。子どもたちは真剣に、何をかうか、選んでいました。

購入後、バスで今回の宿泊場所となる横浜市栄区にある上郷森の家へ。同施設は、mudefが現在横浜市栄区と連携して進めている「横浜・MISIAの森プロジェクト」の会場であることから、栄区の全面的な協力を得て、施設を利用させていただくこととなりました。

チェックアウト後、子どもたちはそれぞれに部屋に入り、入浴の後、就寝となりました。



■ 宿泊施設(上郷・森の家)について

上郷・森の家は横浜市公共の宿であり、当日は6部屋を借りての宿泊となりました。

子どもたち合計30名のほか、各サッカーチームの引率者3名、JENスタッフ1名、mudef1名、バス運転手が宿泊（6日のみJEN2名）しました。

名称：上郷・森の家（※横浜市公共の宿）

住所：247-0013横浜市栄区上郷町1 4 9 9-1 電話：045-895-5151 おおるり亭045-895-5800

URL：<http://www2.kamigou-morinoie.org/>



■ キャンプ2日目 午前・サッカー教室

2日目は朝食後上郷・森の家を出発、横浜市栄区内にある上郷小学校へ向かいました。

当日は曇り空で、雨には降られなかったのですが、当初の予定通り同小学校グラウンドでのサッカー教室となりました。

サッカー教室の開催に当たっては活動に賛同し、元Jリーガーの岩本輝雄（いのもと・てるお）氏、そしてタレントのJOY氏に参加いただき、教室の開催となりました。

教室は今回招聘した30名のほか、横浜市栄区の選抜メンバー約30名が参加しました。開催に当

たり、石巻市・東松島の子どもたち、及び栄区のチームからそれぞれ代表から挨拶が行われた後、約2時間、教室の開催となりました。

教室では岩本さんを中心にシュートの練習や練習試合などが行われました。

開催に当たっては、横浜市栄区による会場調整のほか、横浜市栄区サッカー協会にも全面的にご協力いただき、教室の運営サポートをしていただいた他、教室中の飲料提供や子どものケア、昼食の準備も行っていました。



■ サッカー教室 講師

HOPE FOR JAPANのサッカー教室には、活動の趣旨に賛同いただき、元Jリーガーの岩本輝雄（いのもと・てるお）氏及びタレントのJOY氏にご参加いただきました。

岩本輝雄PROFILE

元サッカー選手。

1994年にベルマーレ平塚に入団したのを皮切りに名古屋グランパスエイトを退団する2004年まで6チームに在籍。日本代表としても活躍した。2006年には、ニュージーランドのオークランド・シティFCと契約を結び、12月に行われたFIFAクラブワールドカップのオセアニア地区代表として2試合に出場。

現在はサッカー解説者として活躍している。

公式サイトはこちら

http://www.diamondblog.jp/teruo_iwamoto/

JOY PROFILE

タレント、モデル。



■ キャンプ2日目 午後・サッカー交流試合

午後は昼食、休憩の後、広渕サッカースポーツ少年団（石巻市）／FC IMPULSE（東松島市）および横浜市栄区選抜メンバー2チームで、交流試合が行われました。

試合の運営については栄区サッカー協会が運営及び審判を務めていただきました。

子どもたちは午前とまた違って、真剣にボールを追い、ゴールを目指しました。

今回招聘した子どもたちの中には最近になって

練習を再開できた子ども、また始めたばかりという子どももいたそうですが、それでも懸命にボールを追う姿をチームが懸命に応援していました。

試合終了後には主催者を代表してmundef代表理事・谷川寛人より挨拶の後、mundefの理事及び賛同者からご提供いただいたプレゼントのほか、栄区長・尾仲富士夫様より参加者へ、プレゼントもご提供いただきました。

試合時間	対戦相手		主審
13:00～13:35	栄区U-11・12	—	広渕SSS
13:40～14:15	栄区U-11・12	—	FC IMPULSE
14:20～14:55	栄区U-11・12	—	広渕SSS
15:00～15:30	栄区U-11・12	—	FC IMPULSE



■ キャンプ2日目 午後・BBQ

サッカー教室、サッカー交流試合の終了後は、会場を移動して、横浜市栄区内にある千秀センターでのバーベキュー大会となりました。

食材の調達、会場の準備に当たっては、全面的に栄区サッカー協会の方々にご協力をいただきました。

バーベキュー会場では、用意したテーブルは、くじ引きで引いた番号に沿って、子どもたちは座ることで、横浜市、石巻市、東松島市の子どもたちが一緒にテーブルに着く形になりました。各テーブルでそれぞれ自己紹介を行った後で、横浜市の子どもの挨拶で、乾杯、そしてバーベ

キューとなりました。

子どもたちはサッカー協会の方々が進ぶ焼肉や焼きそばなど美味しそうに食べていました。食後には会場にある広場でザリガニ釣りやスイカ割りなどを思い思いに楽しみました。

終了時には、栄区選抜メンバーの子どもたちが今回のキャンプのために一人一人が編んだミサンガと、手紙が、石巻市、東松島市からやってきた子どもたちに手渡されました。

また、栄区サッカー協会からも、帰りのおやつにと、お菓子セットとお茶が手渡されました。



■ キャンプ2日目 夜・ナイトウォーク

バーベキュー終了後、宿泊場所である上郷・森の家に帰った子どもたちは、宿泊所に隣接する横浜自然観察の森のナイトウォークに出発しました。

この試みは、自然観察の森の環境管理や指導を委託されている公益財団法人日本野鳥の会のご協力で実現しました。

約1時間、子どもたちは3班に分かれて、レン

ジャーの説明を聞きながら、夜の森を散策、セミの羽化や、夜にしか見ることができない月見草、フクロウの声など楽しみました。

子どもたちはセミの羽化を見ながら、羽化するまでのセミが土のなかで長い年月をかけてきたこと、羽化から1週間という短い時間の中で子孫を残すために懸命の活動をするなど、熱心に聞いていました。



横浜自然観察の森

会場となった横浜自然観察の森（面積45.3ha）は、1987年3月に全国初の環境省自然観察の森事業として開設。横浜の森とそこに暮らす生き物たちを観察し学習できるフィールドです。

mudefでは、この自然観察の森エリアで、現在横浜市と協働で森の魅力を発信する「横浜MISIAの森プロジェクト」も実施しています

■ キャンプ3日目 植樹

キャンプ最終日は、宿泊場所をチェックアウトした後、横浜市栄区内の矢沢なかよし公園へ移動。公園で、栄区の協力の下、今回の石巻市・東松島市と横浜市の友好を記念した植樹が行われました。

植樹したのはハナミズキ。この木は、100年前に日本とアメリカの友好の証しとして、日本からワシントンヘソメイヨシノが送られたお返しとして、アメリカから送られた、友好のシンボル

の木でもあります。

子どもたちは土をかけた後、順番で木に水をやりました。

終了後には改めて、横浜市の子どもたち、そして石巻市・東松島市の子どもたちから今回の交流への挨拶が行われました。

横浜市の子どもたちが見送る中、子どもたちは最後の目的地、東京へ向かいました。



■ キャンプ3日目 JEN事務所～出発

最後の目的地は、今回現地でのチーム招聘とチームの全行程に同行してくれた、HOPE FOR JAPANのパートナー団体であるジェンの東京本部の事務所となりました。

飯田橋にあるジェン事務所では、本部スタッフが勢ぞろいでお出迎え、子どもたちを歓迎してくれました。

事務所では子どもたち全員が「今回印象に残ったこと」を話しました。サッカー教室はもちろん、バーベキューやナイトウォークも楽しかったと、子どもたちから感想をもらいました。ジェンではジェンの活動の紹介のほか、海外の事業地である南スーダンで子どもたちに衛生教

育が目的で実施される手洗いダンスが紹介され、子どもたちも挑戦。照れながら、見よう見まねでダンスを踊ってもらいました。

最後に、南スーダンの子どもたちに向けてメッセージを子どもたちが書き込みました。このメッセージフラッグはジェンスタッフが南スーダンに出発する際に、持参してもらい、南スーダンからの返信をもらう予定です。

全行程を終了し、ジェンから一路宮城県へバスは出発。夕方には現地解散場所である東松島コミュニティセンターに無事到着、解散となりました！



■ 提供物品

HOPE FOR JAPANの今回のサマーキャンプでは大勢の方にご賛同いただき、参加した子どもたちにプレゼントが提供されました。プレゼントは下記のとおりです。

リストは石巻市・東松島市の各サッカーチームにも手渡されました。

(50音順、敬称略)

mudef理事より

岡田武史より サッカーボール 各チーム5個

堀木恵子より 子どもたちのスポーツグッズ各種

MISIAよりMY BEST MUSIC AWARDビニールバック

協力団体より

横浜市栄区サッカー協会より おやつ詰め合わせと飲料40本/ミサンガ

横浜市栄区より 懐中電灯、ホイッスル等ノベルティ

横浜市水道局より ミネラルウォーター約100本

賛同者・団体より

歌手・椎名慶治より フェイスタオル50本

漫画家・高橋陽一様より 小説『サッカー少女 楓』5冊

道端アンジェリカ様より とうもろこしのひげ茶 100本

チョコレートデザイン株式会社様より 当日のアイス及び焼き菓子詰め合わせ

■ サマーキャンプ収支報告書

【収入】

費目	内訳	小計
HOPE FOR JAPAN基金	指定寄付	¥1,837,279

【支出】

費目	小計
A. 交通費	¥353,496
B. 宿泊/保険費	¥357,165
C. 食費	¥449,390
D. サッカー教室開催費用	¥620,140
E. ナイトウォーク開催費用	¥52,030
F. その他	¥6,058
総合計 (税込)	¥1,837,279

【収入】-【支出】

収支差額	¥0
------	----

■ メディア掲載

掲載・放映一覧

8月7日 テレビ神奈川 ニュースで放映(TV放映)

8月8日 朝日新聞「夢あきらめないで 横浜で被災地の子ども支援」

